



建築人

6

2016

大阪ホンマもん



東京都港区の鳥居坂界隈には、今も閑静な屋敷町の雰囲気が残る。その一角の石垣に囲まれた緑豊かな敷地に、国際的な文化交流の拠点として建設されたのが、国際文化会館である。戦後間もない一九五五年六月のことだった。もともとここは三菱財閥の岩崎小彌太郎があつた場所で、回遊式庭園は第七代小川治兵衛の手による。しかし、太平洋戦争末期の空襲で屋敷は焼失し、敗戦直後には土地が物納されて国有地になっていた。その敷地の払い下げを受けて建設されたのである。こうした由緒ある場所に戦後復興の象徴として建てられたからなのだろう。都心とは思えない静けさと明るさに包まれた内外の空間が印象的だ。また、前川國男（一九〇五―八六年）、坂倉準三（一九〇一―六九年）、吉村順三（一九〇八―九七年）の三人による協同設計というユニークな形で実現したこの建物は、一九五五年の日本建築学会賞を受賞する。さらに、二〇〇三年には日本を代表する近代建築として DOCOMOMO 一〇〇選にも選ばれた。

けれども、竣工から半世紀が経とうとしていた二〇〇四年、施設の老朽化と財政状況の悪化を理由に理事会は改築方針を発表、取り壊しの危機を迎える。それでも培われた歴史と人々の思いが強く働いたのだらう。新聞報道もプラスに作用して、その土壇場で、理事会は日本建築学会などからの保存要望を受けとめ、急きょ組織された学会の委員会が提示した案を受け入れて、建物の価値を尊重しつつ機能を向上させる方法を採用したのである。こうして、既存部分を鉄骨で支えながら地下を改築する大がかりで慎重な増築と改修が施され、生き生きとした姿に甦った。そして、現在も国際交流や結婚式などで活発に使われている。

それでは、人々の思いをつないだこの建物にはどのような考え方と方法が込められたのだろうか。学会賞受賞の際の文章に、次のような設計の意図が記されている。

「われわれは微力を合せて各自の短を補い、長を生かし、この建築に求められた種々の要求に協同設計という形を通じて取り組んだのでありますが、とくに平面・意匠と材料及び工法の問題について、お互いの意見が一致するために各人の努力が集中され

利用して庭との連繫を緊密にして開放的な空間を形造ること」が目指された。そして、意匠と材料、工法上のテーマとして、「建築材料のもつ素地を生かして木と石とコンクリート及びガラス等の使い分けによって、簡素で落着のある明るい立面を造り、清新な雰囲気を与えること」が目標とされた。そのために、「二階は大谷石の壁を廻して建物の下部をひきしめ、駐車場からの騒音と視界とを防いだ」のである。また、耐用年数を考慮して、「日本特有の檜を建具材とし

記憶の建築

松隈 洋

国際文化会館 1955 年
協同設計で結実した清新な空間



南側からの建物全景



ある日の結婚式の情景

たのであります。」（『建築雑誌』一九五六年六月号）

設計にあたって要請されたのは、「会館で活躍する人々、来訪者及び滞在者にとつて明るく落ちついた能率的な環境を作り出すこと、また日本の現代の技術と材料とで会館にふさわしい表現を与えること」だった。そこで、前川ら三人は、次の二点を主要なテーマとして設計に取り組んでいく。まず平面計画上のテーマとして、「地形を

て選び、在来のサツシュより大きな断面とスケールを採用しながら木肌のもつ親しみとコンクリート打放し面の灰色との明るい調和とによって、柔かな感じを出し」、さらに、「二・三階の上部はプレキャストコンクリートの柱、楣及び窓台を木造構法のように組合せて、この間に建具や軽量ブロックの壁を嵌込み、陰影のある繰り返しによって単一の壁面をつくっている」のだという。こうして、「日本の伝統的な表現を尊重して、壮大ではあるが華美に流れない清纯

な性格を持たせた」（「設計者の言葉」『国際建築』一九五五年八月号）のである。

興味深いことに、ここに記されたテーマと三人が当時手がけていた建物を想起して並べるとき、この建物がいかに一九五〇年代前半期の時代精神と三人の作風を色濃く反映したものであるのかが見えてくる。

それらの建物とは、坂倉の神奈川県立近代美術館（一九五一年）、前川の神奈川県立図書館・音楽堂（一九五四年）、吉村の木造小住宅の東山魁夷邸（一九五三年）である。おそらく、精緻な大谷石の壁の連続による

流れるような空間とプレキャストコンクリートの口の字型手すりを廻らせた心地よい外部テラスは坂倉から、鉄筋コンクリートの軽やかな構造体の骨格とプレキャストコンクリートの柱と楣を用いた立面の組み立て方、カマボコ形の講堂屋根の造形は前川から、伝統的な木造建築に範を得た真壁造りの端正な外観と木製建具と障子を用いた客室のデザインは吉村から持ち込まれたに違いない。そして、それらの要素を同時に持ち寄って、「各人の努力が集中された」からこそ、学会賞の審査評に記されたように、「独自の調和ある日本的な美しい表現」が成し遂げられたのだらう。折しも、竣工から五ヶ月後の十一月四日には、東京上野に計画されていた国立西洋美術館の敷地視察に来日したル・コルビュジェが、前川と坂倉の案内でこの建物を訪れており、スケッチブックには、屋上庭園の芝生や大谷石のスケッチとメモが残されている。それから約六十年、関係者の努力で今も同じ空間がそこにあることの意味を忘れずにいたい。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

庭づくり入門! ～日陰植物と多肉植物～ 6/11 CPD3単位

庭づくりのセミナーと合わせて寄せ植え体験を企画致しました。今回は日陰植物と多肉植物を取り上げます。「家庭」の文字が示すところの、「家」づくりには欠かせない「庭」づくりの極意を学んだ後は、屋久島の流木のオブジェ(土台)に多肉植物を寄せ植えてみましょう。

日時 6月11日(土) 13:30～16:00

場所 (株)荒木造園設計本社
池田市鉢塚2-10-11

最寄駅 阪急石橋駅

講師 (株)荒木造園設計次長 横村吉高

定員 50名(申込先着順・但し、入会半年以内の方優先)

参加費 会員4,500円 会員外5,500円
(材料費含、持帰り可)

申込締切 6月8日(水)

第58回シニアサロン 奥田邸とがんこ平野郷屋敷 見学・懇親会 6/20 CPD2単位

奥田邸は大和棟への移行前の姿をとどめ、釘を全く使わない組み木の工法で調和した美しさと豪農としての風格をもった、400年近くの歴史を持つ建物です。

また、がんこ平野郷屋敷は鞍作村の豪農・辻元家の本宅として、江戸初期に建設された近世和風建築です。両建築の見学会を開催します。

日時 6月20日(月) 14:20～19:00

集合 14:20 JR大和路線 加美駅 改札口外

定員 30名(申込先着順)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

懇親会費 4,000円

第1回大阪府建築士会マンションアドバイザー セミナー ～何故今、本会にマンションアドバイザーが必要なのか?～ 6/23 CPD3単位(予定)

本会にマンションの維持管理に関する相談が増加しており、大阪府建築士会マンションアドバイザー登録制度を創設しました。セミナーでは、マンションアドバイザー制度創設内容と登録説明等を行います。また、マンション維持管理の実務や、杭基礎の問題について説明します。

日時 6月23日(木) 18:00～20:30

会場 大阪府建築士会会議室

- 内容
- 講義1 ①マンション維持管理支援分科会設置・運営規程の説明
②大阪府建築士会マンションアドバイザー制度の説明
③大阪府分譲マンション管理組合登録制度の創設状況
 - 講義2 マンション維持管理の建築実務の実際
 - 講義3 杭基礎の話:建築士が傾斜マンションの杭基礎問題の教訓から学ぶこと

講師 杉本哲雄(担当理事)、津村泰夫(同分科会委員)、中嶋康夫(同分科会委員)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 35名(申込先着順)

建築士の会 東大阪 東大阪市西消防署新庁舎(第1期) 見学会・活動報告会 6/25

東大阪市西消防署建替工事の第1期竣工庁舎の見学会を、開催いたします。

西消防署建替工事は、消防機能を運用しながらの建替えを行っており、今回第1期部分(南棟)が竣工し、部分的ですが最先端の消防設備、防災の拠点となる消防署を見学いたします。見学後、「建築士の会東大阪」の活動報告会と瓦屋根建築の設計の講演会も予定しています。地域以外の会員の方のご参加も大歓迎です。

日程 6月25日(土) 集合 13:30～

西消防署見学 14:00～

講演会 16:00～

テーマ「瓦屋根建築の設計」

講師 佐村木 猛

活動報告会

懇親会 17:40～

場所 クレアホールふせ

集合場所 近鉄奈良線河内小阪駅(改札口)

募集 30名(申込先着順)

参加費 1,000円(資料、保険、飲料代含む)

懇親会参加は別途4,000円程度

※懇親会参加の有無を明記のこと!

大阪建築コンクール60回記念イベント 「一還暦ーコンクール60回の軌跡と これからの建築の大阪」 7/9 CPD3単位(予定)

昭和29年に設立された大阪建築コンクールが、今年で60回を迎えました。それを記念したイベントを開催します。参加者には全受賞作品掲載の記念小冊子を差し上げます。

日時 7月9日(土) 13:30～19:00

会場 綿業会館本館7階大会場

大阪市中央区備後町2-5-8

開会の挨拶 13:30～13:45

第一部 13:45～14:45

基調講演「大阪建築コンクール60回の軌跡」

講師 松隈洋(京都工芸繊維大学教授)

第二部 14:55～16:55

パネルディスカッション「これからの建築の大阪」
モデレーター/パネラー 倉方俊輔(建築史家)、竹原義二(建築家)、松隈 洋(建築史家)、原田哲夫(建築家)、大谷弘明(建築家)、田口雅一(構造家)、忽那裕樹(ランドスケープアーキテクト)、矢田朝士(建築家)

第三部 17:20～18:50

ドリンクパーティー(懇親会)

参加費 第一部+第二部 会員3,000円 会員外3,500円

第三部(懇親会) 2,000円(会員・会員外共通)

閉会の挨拶 18:50～19:00

詳細は今月号同封のチラシをご覧ください。

第59回建築士会全国大会 「大分大会」 10/22

全国大会を今年は大分県で開催します。本会会員には大会登録料5,000円を補助します。

テーマ 「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」
で地域の創生 おんせん県おおいた
で湧き上がる多様な知恵

日程 10月22日(土)

会場 別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザ、別府市公会堂

※地域交流見学会は10月23日(日)に実施

申込 建築士5月号P30の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、本会事務局まで提出。

締切 7月29日(金)

大会の詳細は「建築士5月号」をご覧ください。

本会の催し参加問合せ・申込先

大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
地下鉄「谷町4丁目駅」1-B出口すぐ
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

Administration

行政からのお知らせ

平成28年度子育て施設木のぬくもり推進事業の事業者募集

大阪府内の幼稚園や保育所、認定こども園等の子育て施設を改修する際の、床や壁の内装等を木質化するための工事費等を補助する「子育て施設木のぬくもり推進事業」を実施します。

受付期間 平成28年4月25日(月)～

平成28年6月21日(火)

対象施設 大阪府内の幼稚園、認可保育所、認定子ども園、地域型保育事業を行う事業所(保育者の居宅又は保育を必要とする子どもの居宅は除きます。)

補助率 木質化に要する経費の1/2以内
(補助上限額:1施設当たり250万円)

詳細は、以下のホームページをご覧ください。

問合せ 大阪府環境農林水産部森づくり課
森林支援グループ

Tel. 06-6210-9556(直通)

<http://www.pref.osaka.lg.jp/midorikikaku/shinrinkankyozai/index.html>

大阪府福祉のまちづくり条例ガイドラインを策定しました

「大阪府福祉のまちづくり条例」の理念や趣

旨、条例に規定する基準、施設の計画・設計や管理・運営において配慮していただきたい内容が分かりやすくまとめられています。

ダウンロード [「おおさかあたりまえ」](#) [\[検索\]](#)

問合せ 大阪府住宅まちづくり部建築指導室
建築企画課福祉のまちづくり推進グループ
Tel.06-6210-9717

尼崎市市制100周年「まちかどチャージング賞」応募作品募集 5/16～7/15

尼崎市では、美しいまちの景観をつくり、まもり、そだてるため、優れた取り組みを表彰する「まちかどチャージング賞」を設けています。

まちなみ建造部門、まちかどスポット部門として、まちなみと調和した先導的なデザインや取り組みを行っている建築物等(概ね平成18年以降完成したもの)や歴史的まちなみの維持・保全に寄与する建物等を対象としています。

応募期間 平成28年5月16日(月)から
7月15日(金)まで(当日消印有効)

賞の部門 まちなみ建造物部門、まちかどスポット部門、都市美形成活動部門、市制100周年記念 産業のまち部門

問合せ・応募先

尼崎市役所 開発指導課

「まちかどチャージング賞」係

Tel.06-6489-6606 Fax.06-6489-6597

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>

平成28年度公社茶山台団地 住戸改善事業設計・施工業務公募 型プロポーザル提案募集 5/30～6/27

大阪府住宅供給公社では、茶山台団地において若年世帯や子育て世帯などの若年層の誘引を目的に、45㎡の住戸を2戸つなげて90㎡にする2戸1化リノベーション住戸プランの提案を求めます。

業務内容 2戸1化リノベーションプラン
2住戸分の設計・施工一式

対象団地 公社茶山台団地

受付期間 5月30日(月)～6月27日(月)
午後5時

問合せ 大阪府住宅供給公社住宅整備部団地再生課再生グループ

Tel.06-6203-5534(直通)

詳細は以下のホームページ上で公表します。

http://www.osaka-kousha.or.jp/x-whatsnew/2016-05-30_chayama/index.html

お詫びと訂正

5月号に封入いたしました小冊子「住吉の蔵」に2箇所の修正箇所がありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

- ①P5右本分12行目[正]97棟の調査対象のうち61棟(62.9%)が本瓦葺だった(表6)。
- ②P6右本文4行目[正]……についても触れている。

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

本会における既存建築物耐震診断等評価業務

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。
公立学校施設や沿道建築物などの耐震不適格建築物について、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。
詳細は、本会ホームページをご覧ください。

平成28年度建築士定期講習

8/23、9/28、10/26、11/17
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成25年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず受講してください。

日程
8/23(火) 定員100名 会場コード5C-02
9/28(水) 定員100名 会場コード5C-52
10/26(水) 定員100名 会場コード5C-03
11/17(木) 定員100名 会場コード5C-53

会場 大阪府建築健保会館

時間 9:30～17:00

申込必着日

8/23(火) 講習:7/19(火)
9/28(水) 講習:8/24(水)
10/26(水) 講習:9/21(水)
11/17(木) 講習:10/13(木)

※簡易書留での郵送のみ受付いたします。

※各回定員に達し次第、受付を終了します。

受講料 12,960円(消費税含)

申込書配布・受付場所

大阪府建築士会事務局

大阪府建築士事務所協会事務局

大阪府知事指定講習

平成28年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法講習会》
6/29・9/8・12/8・2/9 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①6月29日(水)

②9月8日(木)

③12月8日(木)

④平成29年2月9日(木)

時間 10:00～15:50

会場 大阪府建築健保会館6階ホール

最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 各120名(定員になり次第締切)

受講料 会員5,000円 会員外9,000円

テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

大阪府知事指定講習

平成28年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》
8/18・1/26 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日程 ①8月18日(木)

②1月26日(木)

時間 10:00～16:30

会場 大阪府建築健保会館6階ホール

最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 各120名(定員になり次第締切)

受講料 会員6,000円 会員外8,000円

テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

監理技術者講習

(管理技術者以外の方も受講可能)

6/22、7/12、8/9、9/27、10/13、11/22、12/16
CPD各6単位

監理技術者は、工事請負金額3,000万円(建築一式工事は4,500万円)以上の請負工事への配置と、5年ごとに監理技術者講習を受講することが建設業法で義務付けられています。

本講習では建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供します。

なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひ受講下さい。

日程 6/22(水)、7/12(火)、8/9(火)、
9/27(火)、10/13(木)、11/22(火)、
12/16(金)

時間 9:00～17:00

会場 大阪府建築健保会館

最寄駅 地下鉄谷町四丁目駅

定員 各回90名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送・窓口申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページから
申込下さい。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

※詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。

建築士法にもとづく建築技術講習会

CLT工法の現状と将来性、国土交通省CLT構造設計基準と基準強度告示の解説

木造建築の新潮流～大規模化とCLT工法

6/3 CPD2単位

CLT(JAS名称 直交集成板)は木材の繊維方向を層ごとに直交させて接合したパネルです。我国では杉を中心に開発が進み、強固で安定した構造材で耐震性に優れ、設計施工の省力化と工期短縮を可能とする工法として研究が進展しました。

CLT材料の品質及び強度と、CLT部材等の燃えしる設計についての改正が、2016年3月31日に、引き続きCLTを用いた建築物の一般設計法の新設が、2016年4月1日に公布・施行されたことを受けて、飛躍的に普及が進むものと期待されています。

最新の情報提供と具体的な技術基準、申請、構造計画から詳細設計、コスト管理まで詳細に解説します。

日時 6月3日(金) 18:00～20:30

会場 TOTO テクニカルセンター大阪

大阪市中央区久太郎町 3-6-8

最寄駅 地下鉄本町駅

内容 ・海外におけるCLT構造と日本での展開
講師 五十田 博
(京大大学生存圏研究所 教授)
・CLTを用いた建築物の構造設計基準について

講師 中川貴文
(国土交通省 国土技術政策総合研究所 主任研究官)
・CLTを用いた建築物の設計法における課題と提案

講師 川原重明
(株式会社 木質環境建築 代表取締役)

定員 80名

参加費 本会会員2,000円

後援団体会員3,000円 一般4,000円

第2回鑑定業務支援分科会セミナー

建築紛争に巻き込まれないためにすべきこと
6/6 CPD2単位(予定)

大阪府建築士会では建築紛争解決や鑑定に必要な専門知識をもつ人材の育成に力を注いでいます。今回、建築士を対象に調停員や審査会など経験豊富な委員による第2回目のセミナーを企画いたしました。

日時 6月6日(月) 18:00～20:00

会場 大阪府建築健保会館5階会議室

内容 パネルディスカッション

「建築士の失敗事例検証」

パネラー 津村泰夫(本会鑑定業務支援分科会委員)
南勝喜(本会同分科会委員)
三浦直樹(弁護士)

コーディネーター

橋本頼幸(本会同分科会理事)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

定員 50名(申込み先着順)

建築士法にもとづく建築技術講習会

《大阪府知事指定講習》

基礎ぐい工事ガイドライン等講習会
6/14 CPD4単位

国土交通省は平成28年3月4日に、横浜の基礎杭工事の問題を受けて、基礎杭工事の遵守内容を定めた「告示」、「基礎ぐい工事における工事監理ガイドライン」、「設計や建築基準法上の中間検査における留意点」を発表しました。本講習会では、国交省の担当官や、既製杭工事の施工・監理に携わっている技術者、地盤調査の専門技術者等を講師にお招きし、ガイドラインの内容を解説するとともに、地盤調査や既製杭の施工管理のありかた、技術的トラブルを未然に防ぐ方法などについて解説していただきます。尚、本講習会は法定講習とは異なり受講は任意です。

日時 6月14日(火) 13:00～17:10

会場 大阪YMCA国際文化センター2階

最寄駅 地下鉄四ツ橋線肥後橋駅

内容 基礎ぐい工事ガイドライン・中間検査の留意点等
地盤調査の方法と留意点
基礎杭の設計・施工方法及施工の留意点
基礎杭工事施工管理の留意点

定員 300名(定員に達し次第締切)

受講料 本会会員5,000円

一般8,000円

監理技術者講習受講修了者・申込者は、監理技術者講習の一環として無料

建築士法にもとづく建築技術講習会

木造建築の構造設計・耐震診断・耐震補強設計の事例紹介

～限界耐力計算による伝統的な軸組構法の耐震性能評価～
6/17 CPD4単位

「大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル」による構造設計、耐震診断および耐震補強設計の具体的な事例を4例紹介します。

日時 6月17日(金) 13:30～17:30

会場 大阪府建築健保会館6階ホール

最寄駅 地下鉄谷町四丁目駅

内容 限界耐力計算による耐震性能評価の概説、各事例の概要紹介
事例1. 新築木造住宅の構造設計
事例2. 京町家の耐震改修
事例3. 大阪市内の町屋の耐震改修
事例4. 寺院建築の耐震診断
土壁の解析と設計法、摩擦係数試験に関する見解、耐震シェルターの復元力特性

定員 150名(定員に達し次第締切)

受講料 本会会員3,000円

後援団体会員4,000円 一般5,000円

テキスト 「伝統的な木造軸組を主体とした木造住宅・建築物の耐震性能評価・耐震補強マニュアル第6部」 別途3,000円

動静レポート

会長動静

4/22 日本建築積算協会関西支部懇親会
5/13 榎文彦講演会
5/15・16 長野士会との交流会(於:高野山)
5/16 日本建築家協会近畿支部懇親会
5/17 日本建設業連合会関西支部懇親会
5/18 総務企画委員会(建築士会連合会)
5/19 日本建築材料協会懇親会
5/19 奈良県建築士会懇親会
5/20 運営委員会
5/25 平成 28 年度定時総会

運営委員会

平成 28 年度定時総会が滞りなく終了

5 月 25 日ホテル大阪ベイタワーで開催の平成 28 年度定時総会は、委任を含む正会員約 949 名の出席により有効に成立し、全ての予定議案が承認されました。総会冒頭に挨拶された岡本会長は、平成 28 年度の会長所信として、昨年度策定した本会ビジョン【建築からソーシャルデザインへ】～多様な人材と絆で社会に貢献～を念頭に、本年度の事業計画を着実に進めていくことを宣言されました。総会後の理事会では、20 名の新理事と 1 名の新監事を含む役員の会務分掌が承認され、本年度の活動体制が確定しました。式典・表彰式では、大阪府の堤住宅まちづくり部長、大阪市の梶本理事などのご来賓をお迎えし、記念講演では西沢立衛氏に「環境と建築」のテーマで、日本建築学会賞を受賞された豊島美術館など、氏の作品を通じてご講演いただきました。

運営委員会

一級建築士試験の申込状況

平成 28 年の一級建築士試験の受付が 5 月 16 日(月)に終了しました。全国の申込者数は、学科 33,317 名(大阪 2,651 名)で、設計製図 4,750 名(大阪 361 名)でした。昨年との比較では、学科は 216 名増加(大阪 115 名増加)、設計製図では 107 名減少(大阪 34 名減少)しました。なお、一級建築士学科試験は、7 月 24 日(日)、製図試験は 10 月 9 日(日)に実施します。

「榎文彦展」実行委員会

「榎文彦講演会」に約 1,130 名の来場者

5 月 13 日に大阪市中央公会堂で開催した榎文彦講演会～ヒューマンな環境の構築を目指して～では、大ホールが満席となる 1,130 名の来場がありました。講演では、これまで半世紀にわたる設計活動において大切にしてきた建築と地域社会とのかかわりや、施主・利用者・周辺居住者など、様々な人間関係をうまく処理し、誰もが「歓び」を感じる建築づくりの重要性を強調されました。また、「堂島再開発計画」「OBP 計画」「電通大阪支社」や最近作の「ロレックス中津ビル」など多くの大阪の作品を紹介され、大阪とのつながりの深さがうかがえました。

社会貢献委員会

熊本地震における応急危険度判定の対応

大阪府から 4 月 29 日(金)～5 月 3 日(火)の 3 日間、本会会員応急危険度判定士の熊本への派遣要請がありました。本会では、会員判定士連絡網により、熊本への参集が可能か否かを尋ねたところ、43 名から現地での判定活動が可能とのご返事をいただきました。しかし、出発前日の 4 月 27 日 17 時の時点においても、府から判定対象エリア、集合場所、宿泊施設などの参集に必要な情報提示がなく、本会から国交省、熊本県、熊本市へ直接確認したところ、地元の受け入れ体制が整っていないことが判明しました。熊本県からは、これまでの行政職員等による判定が順調に進み、今後は少ない人数で対応できる状況であり、支援していただけるのは非常にありがたいことですが、受入れ準備が整っておらず申し訳ないとの申し入れがあり、府とも相談の上、今回の熊本への本会会員判定士の派遣は見送ることとし、申し出をいただいた方にその旨をお伝えしました。今回の件では、国及び地元自治体等との情報伝達がうまく機能していなかったこともあり、行政間の連携をもっと密にさせていただくよう、府に申し入れました。なお、派遣の申し出をいただいた方の中

で、判定士登録有効期間の 5 年が切れ、判定活動ができない方がおられましたので、登録の期限切れにご注意下さい。

社会貢献委員会

耐震部会の勉強会を実施

耐震部会には約 60 名の部会委員が所属しており、昨年度は市町村等を経由して依頼のあった 124 件の既存木造住宅について耐震診断を行いました。部会では、委員のスキルアップを図るため、診断は原則として担当委員 2 名で実施し、経験が浅い委員はベテラン委員と組んで診断技術を学びます。また、委員を対象とした勉強会を 2 カ月ごとに開催しており、5 月 27 日に 28 年度第 1 回目の勉強会を実施しました。講師には、本会賛助会員の YKK AP(株)の技術者をお招きし「開口を生かす耐震補強実践テクニック」と題して、耐震上の弱点である開口部を閉塞しない補強方法について講義いただきました。

社会貢献委員会

平成 28 年度ヘリテージ事業に対する文化庁からの補助額が決定

平成 28 年度ヘリテージ事業に、この程 3,677 千円の文化庁補助金の交付が決定しました。その内訳は、今年で 4 回目となるヘリテージマネージャー育成事業、伝統的な建築やまちなみのガイドブックを作成する情報発信事業などです。ヘリテージ部会では 5 月 9 日に、本年度事業の企画会議を行いました。

社会貢献委員会

本会のまちづくり助成に 3 団体の応募

本会では建築士と地域住民が連携して進めるまちづくりなどの活動に対して、30 万円を上限として、活動費等に対する助成を行っております。本年度は、4 月 28 日に応募を締め切り、3 団体からの申し込みがありました。現在、まちづくり分科会の審査委員会において書類審査を行い、6 月中旬ごろに本年度の助成対象団体を決定します。

「中山寺五重塔再建工事 現場見学会」を受講して

日程：平成 28 年 4 月 15 日（金） 会場：中山寺 参加者：29 名

中山寺五重塔再建工事の現場見学会では、紫雲閣の講堂で、計画から設計および監理を担当された MIKI 建築設計事務所の富田様より、五重塔建設の経緯のご説明を戴きました。

江戸時代に描かれた中山寺寺領を示す伽藍古絵図を元に復元するという、ロマン溢れる構想から始まり、7 年の歳月を経て現在に至っているとの事。

相輪上端まで約 27m の上部構造に対して、隣接する既存建築物との兼ね合いで約 10m の深さの基礎が必要となり、擁壁も兼ねたその施工方法は複雑を極めたようでした。

次に構造計画を担当された能勢建築構造研究所の久保様より、上部木構造の解析方法について、宝塚市との調整等色々ご苦勞をされ、設計と一体になった構造解析の概要をご説明戴きました。

限界耐力計算法に拠りながらも、時刻暦

応答解析による検証も併用という、意匠設計の私には具体的な想像を超える話でした。意匠的には大願塔の高さを超えないようにするなど、宗教建築ならではの興味深い話しもお披露して下さいました。裏山に設えられた加工場では、檜の香り高く漂う中、数人の職人さんがホゾや仕口加工の最中でした。棟梁が差金を駆使して墨付けをする姿は、久しぶりに見た日本建築の姿でした。

『文化財にも劣らない立派な建物とした。大型木造寺院建築の在来からある技術を後世に伝授することは、お寺の使命』という中山寺管長の思いを着実に実現しつつある現場は、第 4 層まで上がっていました。

初重から各層の屋根仕上の工程を順を追って見学できたのは幸運でした。総檜造りの現場は本当に力強く、放射状に配置された桔木には構造体の美しさを感じ



萬川幹夫（本会会員）

ました。主構造である四天柱とそれを囲む 12 本の側柱の在り様や、芯柱がこれらと干渉せず、中心に在る搭建築の面白さを、目の当たりにすることができました。初重の軒裏には、細かく部材名称を表示して下さい、とても総てを記憶することはできないながらも、気配りの細やかさに感謝で一杯です。白木の檜と藍のコントラストは、美しい限りでした。



アメリカ建材ミッションラウンドテーブルミーティング

日程：平成 28 年 4 月 19 日（火）

アメリカワシントン州の住宅関連企業が使節団を結成し、ワシントン州政府事務局のサポートで、アメリカの建築技術を日本に紹介し、木製品製造会社及び輸出業者が日本の市場への販売を促進できるよう、また、日本市場に関する情報をワシントン州の会社に提供するために、日本の建築業界と交流を図る目的で来日されました。

ワシントン州政府事務局日本事務所伴宣子氏の計らいで、大阪では大阪府建築士会と使節団との意見交換の場を設定し、今回来られたメンバー、アメリカ側 14 名（通訳共）、大阪府建築士会側 15 名のテーブルミーティングを行いました。

最初にエバーグリーン建築資材貿易振興会 (EBPA) ディレクターのローズブラーデン氏より、日本向け輸出市場、樹種別日本向け米国製ランバー、規格、等級、

米国針葉樹製品を使ったデザインのトレンドなどについて詳しく説明していただきました。

日本からは(株)HTA デザイン事務所の高原浩之氏による日本における木材需要等のプレゼンのあと、両国から活発な質問が飛び交いました。

アメリカの建材などを使った事例の質問には NO が多く、①クライアントターゲットが違う②木に対する日本人の思いが違うのでは？大工の文化であり、節、板目へのこだわりがあるのではと回答がありました。

また、樹種別日本向けの米国製ランバーには、針葉樹全般、米松、シトカトウヒ、ツガ、サザンイエローパイン、イエローシーダー（米ヒバ）等多くの種類が挙げられました。イエローシーダーは日本のヒノキと香りや強度が似ています。



中島 薫（理事）

アメリカの住宅リモデル市場については 30 品種以上のカタログがあり、構造計算も含まれ、カリフォルニア州は地震が多いので耐震基準は厳しいとのことで、耐震についてもサービスとして提案できるようです。

お互い熱心で率直な質問が続き、大幅に終了時刻が延びましたが、関税や TPP 等これからの展望に期待を持ちながらミーティングが終了しました。



吹田操車場跡地の新しいまちづくりへの取組

千里丘新町誕生と地区計画

文 篠崎 好健

1. はじめに

摂津市は、大阪府の北部に位置し、南に流れる淀川の豊かな自然に育まれ、古くから農耕が盛んで、大阪と京都を結ぶ水陸交通の要衝としても重要な役割を担ってきました。市域は安威川により、以北・以南地域に大きく分かれます。

摂津市の生い立ちは、昭和三十一年（一九五六）に味舌町、味生村、鳥飼村の三町村合併による三島町が誕生しました。その後、三宅村の一部編入を経て、昭和四一年（一九六六）一月一日に摂津市が誕生しました。市域面積は、一四、八七km²、市制施行当時の人口は約四万三千人でしたが、平成二八年（二〇一六）四月一日現在では約八万五千人となっています。市制施行前から、以北は鉄道駅があることから早くに市街化が進み商業地・住宅地として形成されました。一方、以南は田園風景の残る地域でしたが、鳥飼地区は昭和四六年（一九七一）から昭和六三年（一九八八）まで土地区画整理事業による市街地が形成されました。また、大阪の都市部から約一二kmで、隣接する茨木市の北大阪流通団地等や北河内地域と結節する幹線道路やモノレール整備による交通便利性のよさから工場や倉庫が立地し、産業・流通の街へと変貌していきます。

2. 吹田操車場跡地地区の歴史と、まちづくりプロジェクトの歩み

明治以降、急速に近代化が進み東海道本線は日本の大動脈であることから貨物鉄道の輸送力強化が図られ、貨物輸送量増大に伴う大阪を通る貨物を捌く吹田操車場が大正一二年（一九二三）に開業しました。昭和に入り拡張工事が繰り返され、昭和一八年（一九四三）には、一日あたり八千両の能力を有し東洋一と謳われる操車場でした。また、旅客線では市域北部に千里丘駅が昭和一三年（一九三八）、隣接する吹田市域の岸辺駅が昭和二二年（一九四七）に開業しています。

高度経済成長期以降、大阪都市圏への人口流入が進み、昭和三五年（一九六〇）に千里丘陵の千里ニュータウン開発に伴う生活排水の受け皿として、昭和三九年（一九六四）に正雀下水処理場が操車場に隣接して大阪府により整備され、その後、同下水処理場は昭和四八年（一九七三）に吹田市へ譲渡されました。昭和の後半は、モータリゼーションで自動車輸送が鉄道の代替輸送手段として大きく普及したことで、また貨物輸送の合理化による途中入換え作業のないコンテナ専用列車が登場し、操車場経由式の輸送が全廃されたことから、昭和五九年（一九八四）に吹田操車場は廃止され、

約六〇年の歴史にピリオドが打たれました。その後、国鉄民営化により、昭和六二年（一九八七）に梅田貨物駅機能廃止、同機能を吹田操車場跡地へ全面移転する計画が提示されました。

その後、大阪府をはじめ、吹田市、摂津市、旧国鉄清算事業団（現鉄道建設・運輸施設整備支援機構）、JR貨物との間で、移転に伴う環境対策や貨物取扱量、まちづくり可能用地等について何度も協議・交渉を重ね、ようやく平成一一年（一九九九）一月に梅田貨物駅の半分の機能移転等を盛り込んだ「梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画に関する基本協定書」が関係五者間で交わされました。

この基本協定に基づき、同年から七年間に及ぶ環境影響評価手続で貨物駅建設の周辺環境対策が担保され、平成一八年（二〇〇六）二月に「吹田貨物ターミナル駅（仮称）建設事業に関する着手合意協定書」が五者間締結、平成一九年（二〇〇七）一月に「吹田操車場跡地地区（仮称）の整備に関する基本協定書」を大阪府、吹田市、摂津市、UR都市機構、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、JR貨物との六者間締結で、新たなまちの誕生に向けた取組が開始しました。

3. まちのゾーニングと地区計画（摂津市域）

吹田操車場跡地地区の土地区画整理事業は、UR都市機構が施行者で、全体区域面積が約二二・一ha。その内、吹田市域約一五・〇ha、約七・一haが摂津市域です。区域外の下水処理場・クリーンセンター跡地面積は約五・三haで、区画整理区域の内外合わせた新しいまちづくり可能用地であることから、実効性のある誘導指針のまちづくりガイドラインを策定するとともに、計画的な開発誘導を図るための地区計画の策定を目指しました。

また、平成二五年（二〇一三）には国立循環器病研究センター（国循）と吹田市民病院の岸辺駅北口への移転決定により、吹田操車場跡地利用コンセプト「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」とした土地利用の骨格が定まりました。

摂津市が定めた千里丘新町地区・地区計画の概要は、面積は約一二・二haで、摂津市で二地区目となる地区計画です。当初は区画整理と用途地域変更を併せた地区計画であったため処理場跡地は含まず、名称は吹田操車場跡地地区とし、都市型居住ゾーンAを先行して地区整備計画と建築制限条例を平成二八年（二〇一六）一月に制定しました。

現在、処理場跡地も含めて、千里丘新

町地区に改め、都市型居住ゾーンA・Bをはじめ、医療・健康創生関連ゾーン、緑のうるおい環境創出ゾーンとして、これらのゾーンに地区整備計画と建築制限条例の変更を進めているところです。

各ゾーンの方針を紹介しますと、都市型居住ゾーンAは最低敷地面積を三千㎡とし、集合住宅を主体とする土地利用を誘導し居住機能を補完する生活利便施設を導入するなど良好な居住環境の形成を図ることとし、次に都市型居住ゾーンBでは最低敷地面積を一千㎡（戸建住宅等は七五㎡）とし、住宅等を主体とする土地利用を誘導し居住機能を補完する生活利便施設を導入するなど周辺に配慮した市街地の形成を図ることとしています。

都市型居住ゾーンAの一部では、すでに民間事業者による宅地開発計画が進んでおり、地上一五階建て二棟と地上二〇階建て三棟、総戸数八二四戸のマンションが建築されようとしています。

医療・健康創生関連ゾーンは、処理場跡地で、国循と連携した医療系産業の集積や健康増進に寄与する健康・予防医療関連のサービス機能導入により、職・住・学が享受できる街区形成を図ることとしています。

緑のうるおい環境創出ゾーンでは、地域の防災拠点となる約一・一haの「明和池公園」が整備され、近接して遊具などが配置された街区公園や緑道、緑地が整備され、公園・緑道・緑地が一体となつた、まさしく緑の潤う環境ゾーンとして生まれ変わっています。

4. まちびらき

千里丘新町のまちびらきとして、平成二八年（二〇一六）三月三〇日に式典開催、道路・公園等の供用を開始しました。広報等で日時をお知らせしていたためか、多くの小学生やお子さん連れの親子が公園のオープンをいまかいまと待ち並んでいました。いざオープンすると、子どもたちはかけ足で我先に走って遊具へと向かい、また自転車の子どもたちは、お母さんが自転車を停めるのも待てず走っていく光景を、式典終了後、オープンまで待機した関係者達は感動と満面の笑みでその光景をしばし眺めていました。

すでにマンション建築へ動き出している都市型居住ゾーンAの一部を除いた街区については、これから民間事業者が定まれば開発協議を進めていくこととなり、担当主管課として、地区計画の方針、地区整備計画に基づいたものとなっているかを審査することになります。

いまでも一部の街区では、ちらほらと開発に関するご相談が来ており、関心が高いものと認識しており、新しく誕生したまちが良好なものとなるよう、このまちづくりプロジェクトに関わってきた方々の苦勞やあつい想いを引き継ぎながら、地区計画の目標、方針等を理解したうえで、今後は開発計画を円滑かつ適正に誘導していかなければならないと切実に思っているところです。

5. おわりに

今年、摂津市は市制施行五〇周年を迎える年です。このような記念すべき五〇周年を迎える年に新たなまちが誕生したこと、新たな歴史が始まる第一歩を踏み出したような気がします。

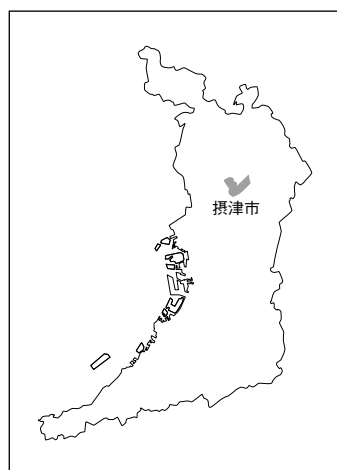
これからいくつか五〇周年の冠をつけた各種イベントが開催され、市施行五〇周年を市民と一体となって盛大に祝う年となります。

私どもの市長が今年度の市政運営の基本方針の中でも述べておりましたが、何事も先人が築き上げてきた歴史を振り返り、子の世代、孫の世代に引き継ぎながら、次の五〇年先の未来に向けて、大いなるまちづくりを進めていきたいと考えています。



篠崎 好健（しのさき よしたけ）

摂津市建設部建築課指導係長
一九七〇年 大阪府京都市生まれ。
一九八九年 大阪府立都島工業高等学校土木科卒業
一九八九年 摂津市入庁 公共下水道行政、道路行政に携わる
二〇一四年 四月より現職





この住宅は蔵屋敷の残る大阪の由緒ある住宅地に位置する。敷地は南側主道路と西側道路の三叉路に面し、隅切りのある南北に長い敷地である。北側に駐車場、水廻りと玄関を、南側に居間食堂を設けた。隅切り側であった門と格子戸の様式を玄関、三畳中板の小間へと繋いだ。この小間は襖の潜りを設け茶の湯も出来る。居間食堂から小間へは続きとし、居間から小間へと通ずる障子と、一段上げた踏み板に設えた棚が小間へと誘う。自由に使えるこの小間がこの住まいに日本の美意識と楽しみを大いに醸し出している。建築主の意識が有ってこの空間が出来上がった。

所在地：大阪市住吉区
用途：住宅
竣工：2015.11
構造規模：木造2階建
敷地面積：173.04㎡
建築面積：68.77㎡
延床面積：137.54㎡
写真：杉野 圭



敷地は住宅密集地に位置し、南北の細長い敷地の特性を生かしつつ、周辺環境を考慮して、敷地内部に景色を作り出すセミコートハウスを提案した。大きな要望として、車4台の駐車場・子供達がのびのびと気兼ねなく暮らせること。これらの条件から、歩道のついた北側道路に、玄関アプローチを配し、往来の少ない南側道路に接して、車4台の駐車場を設けた。駐車場の上部に大きなデッキテラスを設け、高い塀で囲み、プライバシーを確保した。3人の子供達が元気に走り回り、時にはキャンプやバーベキューなどを通し、緑と共に四季を通じて、家族が新たな刺激と豊かさを感じながら暮らせる住まいになることを願う。

所在地：大阪市大正区
用途：専用住宅
竣工：2016.03
構造規模：RC造3階(住宅)
+木造1階(駐車場)
敷地面積：389.48㎡
建築面積：122.64㎡(住宅)
70.85㎡(駐車場)
延床面積：260.60㎡(住宅)
70.85㎡(駐車場)
写真：福澤昭嘉

国家戦略特区の認定や、篠山城下町ホテル NIPPONIA の開業で注目が集まる丹波篠山。その取り組みについて、NPO のメンバーとして、設計者として、長年関わってこられた才本謙二さんにご紹介いただきました。それは一朝一夕になされたものではなく、着実な活動の成果であることが読み取れます。

歴史が取り持つ地域と暮らしの再生

才本 謙二

才本建築事務所 代表 1956 年生まれ。

ひょうごヘリテージマネージャー、NPO 法人町並み屋並み研究所副理事長、ノオト社員。丹波篠山を中心に活動。「集落丸山」「豊岡 1925」「篠山城下町ホテル NIPPONIA」など古民家再生の設計を多数手がける。兵庫県人間サイズのまちづくり賞受賞。

プロフィール

大阪府に隣接した人口四万四千人の小さなまち丹波篠山（篠山市）は、大阪・神戸・京都から車で一時間圏内にあり、篠山城跡を中心とした城下町と周辺の農村集落で構成された町です。この変哲もない町で、一二年前に当初五名でスタートした小さなプロジェクト（PJ）が、ヘリテージマネージャーを巻き込み、NPO 法人町並み屋並み研究所（町屋研）と一般社団法人ノオトへと展開、エリアも丹波篠山から全国へ広がって、様々な評価を頂戴しています。今回は PJ の一端をご紹介します、皆様の活動の一助になればと思います。

ヘリテージマネージャー

今回発生した熊本地震では、人的被害と共に多くの歴史遺産が被害を受け、存続が危ぶまれています。東日本大震災でもそうでしたが、兵庫は一九九五年に発生した阪神淡路大震災で多くの貴重な文化財と名もない歴史的建造物が、どさくさに紛れ解体撤去された苦い経験のもと二〇〇二年に発足したのが「ひょうごヘリテージ機構」です。歴史文化遺産の発見と保存活用提案が可能な人材（ヘリテージマネージャー）を養成し、全県下七地区で地域に即した活動を繰り広げています。地域の歴史的建造物の保全が当初の目的でしたが、最近は空き家や文化財を活用したまちづくりにも積極的に参画しています。

NPO 法人町並み屋並み研究所

二〇〇四年秋時を同じくして、町屋研の前身である NPO 法人たんばぐみが主催したまちづくりセミナーに参加したメ



町屋研の活動

ンバーが、セミナー終了後篠山のまち歩きをした時に、売り出されて久しい空き家を見て、近いうちに解体されると危機感を抱いたのが、PJ 設立のきっかけとなりました。古民家は、現在の市場原理で残すことは難しく、貴重な資産を後世に残すシステムの構築が重要であると考えました。早速たんばぐみ内に部会を立ち上げ、約半年の議論の末考え付いた仕組みが「古民家再生プロジェクト」です。まず資金ですが、期間や用途に制約がある補助金に頼らず民間の資金調達で空き家を買取り、プロ（建築士、職人）の指導のもと市民ボランティアが、改修工事を行います。結果通常より低額で改修ができ、売却し得た資金を次の古民家再生事業の資金として運用するスキームです。事業は二〇一〇年にたんばぐみから町屋研に引き継がれ、バリエーションを増やしています。ご紹介した買取再販のほか借家を改修し事業者をマッチングするサブリース、篠山への移住者支援に起業支援、最近では、高齢で建物維持が難しくなった居住者支援を行っています。

活動を通し参加者の中から町に愛着を覚え、篠山への移住や起業した人たちが多く生まれたことは、想定外でした。

一般社団法人ノオト

前身の篠山市の外郭団体が出資法人の再編民営化に伴い、二〇〇九年から活動を開始しています。ノオトが最初に取り組み有名になった PJ は、篠山市内から五 km ほどの山里にある宿泊施設「集落丸山」です。ひっそりとたたずむ一二戸の民家が織りなす風景はまさに日本の原風景ですが、近年は住民が減り七戸が空き家となつて、限界集落を超え消滅集落の危機にありました。しかし、築城四〇〇年祭のイベントとして一〇数回に及ぶセミナーやワークショップを重ねた結果、空き家七軒のうち三軒が無償貸与に同意し三棟のオーバー Джу にコンバージョン、日本の暮らしを体験する空間に生まれ変わりました。運営は、五戸一九人の住民で「NPO 法人集落丸山」を設立ノオトと有責任事業組合（LLP）を結成し、経営しています。「集落丸山」では、村の年中行事を共に楽しむ里山体験プログラムも用意され、村民としての生活を体験できます。人々の心をつかみ魅了するのは、都会の人々に人間本来の本能を刺激する自然環境や安らぎを与える暮らしがそこにあるからだろうと思います。今や二〇一六年兵庫版ミシュランガイド旅館部門に掲載されるまでになりました。

若匠（じゃくしょう）

「集落丸山」の改修工事は、町屋研の事業に協力する地元の工務店三社がそれぞれ工事を行ないましたが、技の伝承も



篠山城下町ホテル NIPPONIA



竹田城下町ホテル EN・客室



集落丸山・客室

重要だと考え親方弟子の縦軸に、各工務店の若い職人たちを横軸として結集させ、スキルアップを図りながら社会貢献するグループ「若匠」を立ち上げました。若匠は、町屋研が主催する古民家再生PJの指導役として市民と接することで、伝達能力が増し合せて社会的認知度を高めました。今後はこの活動をソーシヤルビジネスとして確立し、地方の職人が定住促進の一翼を担うものと確信しています。

事業展開 景観保全と空き家対策

我々のPJをそっくりそのまま他の地域に持ち込んでも成功するとは限りません。必要なのは地域の人々の情熱と創造力、シンパシー、実行する人の気概です。憧れだけで訪れた人や、安易な事業計画で出店した人たちは、数年で立ち去っています。そんな人たちに共通するところは、キャリアを過信し田舎を軽視しているところでしょうか。我々の事業は六〇を超え五〇名以上の移住者を受け入れることになりました。実は、景観保全とにぎわい創出が目的だったPJは、空き家対策を実践していたことになりました。現状篠山では、空き家を数年かけて探している人や、出店を希望する人々が、年々増えています。ただ多くのコンバージョンを可能にしたリノベーションには、多少工夫しています。工夫したいいくつかのポイントがありますので、ご紹介しましょう。

- ・予算管理が重要で、再生に新築ほど金を掛けては、古民家は残りません。予算は新築の約半分坪三〇〇〜四〇万円を目標としています。改修はメリハリをつけ必要最小限度とします。
- ・古民家本来の良さを生かすことを旨と

し、創建当時か建物が最も輝いた時代に戻します。

- ・我慢する必要はありません、水回りは清潔で最新機種を導入します。古いと不潔は別物です。

- ・全館冷暖房は不可能です。一間逃げ込める部屋を造ります。断熱を含めた省エネは課題です。

- ・耐震補強も腐朽部材の取り換えや壁の増設など行いますが、まだまだ不十分などころがあり、制度利用や適正な耐震手法の検討が必要で、こちらも今後の課題としています。

- ・末期的症状に遭遇することがあり、建物の維持管理の適正化は、かなり重要です。

- ・事業者は、前述の通りしっかりと事業計画の下改修を行います。

- ・空き家（古民家）愛し、活用してくれる人を見つけることも重要です。

目指す方向と課題

ヘリテージマネージャー制度は、全国で三〇数都道府県に広がりました。兵庫では、今後ヘリテージマネージャーアキテクト、サポーター、コーディネーターのカテゴリーをもって養成し、連携しながらまちづくりを行うことになりました。こちらも、ソーシヤルビジネス化へ向けて動き出しました。

町屋研は、いままで市外のボランティアと事業者への情報発信と連携が中心で、開催するイベントも市内へのアナウンスが不十分だったところを、今後は地元の既存組織との連携を深め、地元密着を図る予定です。

注目を浴びるノオトは、「集落丸山」「竹田城下町ホテルEN」、「豊岡1925」

に引き続き、昨春秋には国家戦略特区の認定を受け、数年前から構想していた「篠山城下町ホテルNIPPONIA」を開業しました。城下エリアに点在する江戸から明治期創建の四棟の古民家を再生し、一つのホテルとして運営しています。もう一つの特長は、市内に点在する我々が関わったものも含めカフェやレストラン、ショップなどをホテルの施設の一部として位置づけています。ホテル利用者は、それらを巡りながら篠山の文化と歴史に触れることでこのホテルは篠山活性化の役割を担うことになりました。また、特区の認定を受け旅館業法の規制緩和の下、帳場を一か所に集約して経営の効率化を図っています。経営はノオト、運営は宿泊やブライダル事業を手掛けるプロに委託し質を保っています。資金調達に關しても、SPC（特定目的会社）を設立し、官・民や政府系のファンドからも融資を受けることができるようになりました。

一二年前に一棟の古民家の再生事業から始まった小さなPJは、まちなみの魅力を高め、地域全体の活性へと広がってきました。古民家再生は単なるブームのように受け取られ、ウェーブをかつての学生運動のように表されることもありますが、歴史的建造物を活用し日本人が培ってきた文化を大事にすることによって地域の産業が創出され、まちの発展（存続）に繋がるものと考えます。これは篠山で一〇年に渡る試みからたどりついた一つの事例です。地域ごとを抱えている問題と解決方法は異なりますが、空き家とりわけ歴史的建造物がハードの再生から地域とくらしの再生へと、多様な可能性をはらむ時代に入ったように思います。

建築士会の事務局で最終審査を行った。
まず審査をするにあたって、「竹中大道具館新館」の建築は特別な建築ではないかという意見が持ち上がった。この建築は、建築技術・数寄屋伝統建築の保存・作庭技術・展示されている唐招提寺の木組みなど、可能な限りの表現がバランスよく実現しているなど、特別な枠組みのなかで完成しているということを議論した結果、特別賞として別枠で賞を授与することにした。

「大塚グループ大阪本社大阪ビル」は街のランドマーク的な役割を持ち、間口が狭く、奥に長い敷地をうまく活用し、魅力的なオフィス空間を実現した建築である。構造体のH型鋼を3角形で組み合わせ、カーテンウォールと一体化させた「スキンストラクチュア」が建物を包み込んでいる点は従来のカーテンウォールの味気なさをなくし、強い個性を持って建築が街に表現されている。さらにディティールの完成度や室内の配色も魅力的で力強い作品として評価された。

「同志社京田辺会堂」は大学のキャンパスのなかに建つ礼拝堂と新島襄関連資料室である。大学正門から伸びる軸線上の通路と広場に向かってくる構内通路を挟んで正対するように建っている。この2つの建物を結んでいるのは水盤である。両棟に配置された建物はこの水盤に映り込みお互いの距離をは

かるかのようにして無機質な空間に光と影を与えている。

長手方向の壁には開口部を設けず、短手方向は硝子が天井まで立ち上げられ、内側から外側へと視線が動く。そして、リズムを持つ列柱が2つの建物をつないでいる。空間を表現しているレンガのテクスチュアと色合いが大学キャンパスのなかでも特異な色合いを醸し出している。小さな建築ではあるが既存のキャンパスのなかにうまく調和している点が評価された。

最後まで議論された「市立吹田サッカースタジアム」は、建築が募金によって実現した新しいタイプの公共建築として評価された。が、サッカー場としての外部の扱い方にもう少しの配慮と工夫があれば競技場に訪れた時のアプローチの雰囲気や、試合後の抑揚感をもっと高まるのではないかという意見が出、票が分かれ入賞を逃す結果となった。

住宅部門では「千本の家」は写真では理解できなかった空間の配列が現地を確認できた。細長い敷地を生かした平面と断面の計画は、外部と内部を巧みに使い分け空間の深度を高めている。狭小敷地での新しい住まい方の提案が随所に見られ、木造の可能性を得た。クライアントの住まい方は見事であった。

「内デッキのある家一つの棲家」は、

以前に設計した建主が裏の土地を購入し、2つの建物が連続するように考えた終の棲家である。生け垣に囲まれ、納まりのよい瓦屋根が周辺の環境を整えているように建っていた。軒が低くおさえられた木造平屋建てで、2つの建物を南北の内デッキで視覚的につなぎ、母屋へと視線が抜けていく。とても居心地のよい空間は、審査でなければ長く滞在したくなるような住宅であった。特にスケール感や素材の使い方、外と内の関係などは住み手の意を汲んだきめ細やかな設計が高く評価された。

最後に新人賞である渡辺節賞は斜面地を生かした「元斜面の家」がすんなりと決まった。ただし、現地を訪れるまでは、この斜面地をどのように生かして建築しているのかという疑問はあった。が、現地審査で訪ねたとき、子どもたちの楽しそうな生活ぶりや、階段を巧みに使いこなしている姿を見て、建築と環境と生活が一体となった魅力的な空間を見ることができた。そして、荒削りな空間が立体的に配置されている構成に力強さが見て取れた。困難な場を読解し、建築に昇華する力量を高く評価した。

質の高い作品が多く、審査は多岐にわたったが、現地審査の重要性を感じとった審査であった。

大阪府知事賞 内デッキのある家一つの棲家ー

設計者 長谷川総一（長谷川設計事務所）



建築位置／藤井寺市
建物用途／戸建住宅
建築主／山内 淳
施工者／株式会社市川工務店
竣工年月／2015年5月
構造／W造
階数／1階
敷地面積／320.23㎡
建築面積／99.90㎡
延床面積／86.24㎡

撮影 市川かおり



長谷川総一
1956年生まれ
1979年3月 京都工芸繊維
大学工芸学部住環境学科卒業
1979年4月 マツダ店舗設計研究所
入所
1981年10月 レンゴオ設計事務所
入所

1985年 4月 株式会社アトリエフルタ建築研究所入所
1992年8月 長谷川設計事務所開設 現在に至る
[主な受賞歴]
1992年 21世紀KOBЕの住まいコンクール優秀作品賞
2007年 第10回日本木青連木材活用コンクール木材青壮年
連合会会長賞
2011年 平成23年度日事連建築賞奨励賞
2011年 大阪ガス住宅設計アワード2011最優秀賞
2014年 第二回吉田桂二賞入賞

〈審査講評〉生垣越しに見える長く美しい軒が、さりげなく端正な姿をアピールしている。隣に建つ二世帯住宅から独立させた高齢のご夫婦のための住まいである。南北の外部デッキとこれをつなぐ幅2.7mの内デッキが、旧住宅との連絡、車椅子でのアプローチ、庭いじりや訪れる人とのコミュニケーションを可能にしている。隣居、バリアフリー、生きがい等、高齢者の住まいをめぐる多様な課題に対し、調和した解答を鮮やかに示した住宅である。

（審査委員 越智正一）

第 60 回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会 後援／大阪府

●大阪府知事賞

内デッキのある家—ついの棲家— 長谷川総一
同志社京田辺会堂 柏木由人
大塚グループ大阪本社大阪ビル 若林 亮
千本の家 矢田朝士

●特別賞

竹中大工道具館 新館

小幡剛也 須賀定邦
中西正佳

●渡辺節賞

元斜面の家

畑 友洋

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大です。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰します。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものです。

募集範囲

2011年1月1日から2015年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物
*建築確認申請不要物件は完了検査済証不要
竣工年月日は工事完了時

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない
建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員
または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない
建築位置：近畿二府四県

応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員
または大阪府在住もしくは在勤の者
完了検査済証発行日現在39歳以下

審査委員会

委員長 竹原義二
(無有建築工房、摂南大学理工学部建築学科教授)
委員 越智正一
※50音順 (大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長)
梶橋 修
(神戸大学大学院工学研究科工学部准教授)
陶器浩一
(滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科教授)
橋寺知子
(関西大学環境都市工学部建築学科准教授)

審査

審査委員会 3 回

●第 1 次審査

2月19日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門9点、渡辺節賞部門4点を選考

●第 2 次審査

3月4日、7日 第1次審査通過作品について
現地審査を2日間実施

●最終審査

3月7日 第2次審査終了後に実施
大阪府知事賞4点、特別賞1点、渡辺節賞1点を選出

表彰式・受賞者講演会

●表彰式

とき 平成 28 年 5 月 25 日 (水)
本会定時総会式典席上
会場 ホテル大阪ペイタワー・4 階

審査経過並びに総評



審査委員長
竹原 義二

大阪建築コンクールは1954年に創設された。今年は60回目を迎えコンクールの節目(還暦)となった。これまでの受賞作品と受賞者・審査員のリストに目を通すと日本の建築の歴史を見るようである。審査委員長には村野藤吾・滝沢真弓・浦辺鎮太郎・・・などの名前が続いていく。関西の建築文化を築いて来たコンクールであることに身

が引き締まった。審査とは審査員が審査されていることになるのを痛感した。

前回からは1年おきに開催されることになったため大規模な作品が多数を占め、小規模な作品との違いをどのように評価すべきかの議論があり、評価の基準を整理することから始まった。

今回の応募作品数は知事賞部門43作品と渡辺節賞部門14作品である。

審査は全作品をパワーポイントで見終わったあと、図面と写真による審査を審査員独自の審査方法で行った。現地審査の対象となる作品を選んだ結果、満票はなく票が分かれた。1票を投じた委員から評価する理由を聞きながら、推薦する理由は何か、また推薦しない理由は何かを議論し、最終段階まで絞り込んでいった。意見が出つくした時

点で再度話し合った結果、できるだけ多くの作品を現地審査することを確認し、1票の作品も現地審査の対象として残した。特に住宅部門の作品は評価の基準が各委員で違ったため、現地審査の数を多くし、写真では見えない生活の仕方も考慮することが確認された。

審査員の構成が今回から5人になり、それぞれの建築の捉え方の違いが表出し、議論が多岐に渡った。

また今回から審査の透明性を出すために設計者の氏名を伏せて審査にあたったことを記しておく。

現地審査に残された作品は非住宅部門6作品、住宅部門3作品、渡辺節賞部門4作品を現地審査対象作品とすることにした。3月4日と7日の2日間現地審査を行った。そのあと、大阪府

特別賞 竹中大工道具館 新館

設計者 小幡剛也 須賀定邦 ※中西正佳（株式会社竹中工務店）※ 2015 年竹中工務店設計部退社、現在 中西正佳建築設計事務所



〈審査講評〉緑の中に埋め込まれた建築は六甲山の山並みと一体となり自然体として街並みに佇んでいる。大きなむくりのある瓦屋根が樹木の隙間から見え隠れし、建築の大半が地下に埋め込まれているので重厚には見えないなど環境への配慮や建築空間と一体となった展示空間は見応えがある。また各所に見られる新しい技術と伝統的な技術はすぐれた職人の技で建築の本質が表現されている等、この建築はものづくりの心が見えてくる正統な建築である。（審査委員長 竹原義二）

建築位置／神戸市
建物用途／博物館
建 築 主／
公益財団法人
竹中大工道具館
施 工 者／
株式会社竹中工務店
竣工年月／2014年4月
構 造／S造・RC造
階 数／
地上 1 階、地下 2 階
敷地面積／2,744.30㎡
建築面積／538.97㎡
延床面積／1,884.05㎡

撮影 古川泰造



小幡剛也(左)
1969年生まれ／1991年3月 京都大学工学部建築学科卒業／1993年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了／1993年4月 株式会社竹中工務店設計部入社／2011年4月 同設計部設計第3部門設計グループ長／2016年4月 同設計部設計第3部長／現在に至る
[主な建築作品と受賞歴]2011年 塩野義製薬医薬研究センター(SPRC4):大阪建築コンクール大阪府知事賞、大阪まちなみ賞知事賞 他／2014年 竹中大工道具館新館:第25回AACA賞、第1回ウッドデザイン賞奨励賞、第42回日本建築士会連合会賞特別賞 他
須賀定邦(中央)
1972年生まれ／1995年 東京大学工学部都市工学科卒業／1998年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了／1998年4月 株式会社竹中工務店設計部入社／2013年4月 同設計部設計第3部門副部長／2016年4月 同設計部設計第3部門設計グループ長／現在に至る
[主な建築作品と受賞歴]2005年 ストロングビルディング:第50回BCS賞、第1回鈴木禎次賞 大賞、第35回建築士会連合賞優秀賞 他／2008年 福寿園京都本店:作品選集2012、京都デザインアワード2010入選 他／2014年 竹中大工道具館新館(同上)
中西正佳(右)
1981年生まれ／2005年 京都大学工学部建築学科卒業／2007年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了／2007年 竹中工務店入社／2016年 中西正佳建築設計事務所開設／2016年 近畿大学非常勤講師
[主な建築作品と受賞歴]神戸国際中学校・高等学校 河野記念アルモニホール:2012年 第11回芦原義信賞 他／2014年 竹中大工道具館新館(同上)

渡辺節賞 元斜面の家

設計者 畑 友洋（畑 友洋建築設計事務所）



建築位置／神戸市
建物用途／戸建住宅
建 築 主／毛利宗玄
施 工 者／株式会社コハツ
竣工年月／2015 年 7 月
構 造／W 造
階 数／2 階
敷地面積／176.54㎡
建築面積／93.51㎡
延床面積／123.93㎡

撮影 矢野紀行



畑 友洋
1978年生まれ
2001年3月 京都大学工学部建築学科卒業
2003年3月 京都大学大学院工学研究科修了
2003年4月 高松伸建築設計事務所に入社
2005年3月 畑友洋建築設計事務所開設 現在に至る
京都大学、近畿大学、神戸芸術工科大学、摂南大学非常勤講師
[主な建築作品と受賞歴]
Belly House(JIA第6回関西建築家新人賞、第3回京都建築賞優秀賞)
Complex House(WAN House of the Year 2011受賞)
Stone Terrace(BOKA ARTIST RESIDENCE COMPETITION first prize)
Forest Shadow(六甲ミーツ・アート2011奨励賞)
Hut of Glass(長浜アーバンガラスコンペティション2011グランプリ) 他

〈審査講評〉神戸に典型的な急斜面を造成した住宅街に建つ住宅であり、急斜面に半分埋まりながら山側バルコニーと海側の庭まで、傾斜を活かした立体的な空間構成をもつ。夫婦＋子供5人の7人家族に求められるプライベートな機能をコンパクトにまとめつつ、かつて造成以前にこの地にあった斜面をたどる様な斜めの大屋根が、大家族の一体感と距離感を見事にバランスさせている。構築的でありながら家族の集の様な空間が評価された。（審査委員 槻橋 修）

審査風景



大阪建築コンクール基金出捐者リスト

株式会社IAO 竹田設計	岸下和代	濱田 徹
あけぼの住研有限会社	岸下秀一	株式会社原田彰建築設計事務所
ATELIER-ASH	岸下真理	株式会社ピアレックス・テクノロジーズ
株式会社アトリエ天藤	木原千利設計工房	藤田 忍
生山雅英	越井木材工業株式会社	水谷 敢
今井俊夫	榊原節子	株式会社三菱地所設計
株式会社インターオフィス	修成建設専門学校	森村政悦
上田茂久	須部恭浩	山城健児
岡崎 雅	田中義久	横田友行
岡本森廣	辻井光憲	芳村隆史
織部製陶株式会社	株式会社徳岡設計	米井 寛
有限会社家俱家	中島 薫	株式会社ライト・ストリート総合計画
岸下愛子	株式会社ノザワ関西支店	(50音順 敬称略)

大変ありがとうございました。
本コンクールの募集・審査・表彰・講演会等の運営資金に充てさせていただきます。
(公益社団法人大阪府建築士会建築表彰委員会)

大阪府知事賞 同志社京田辺会堂

設計者 柏木由人（ファセット・スタジオ・ジャパン一級建築士事務所）



建築位置／京田辺市
建物用途／大学
建築主／学校法人 同志社
施工者／吉村建設工業株式会社
竣工年月／2015年3月
構造／RC造、一部S造
階数／2階
敷地面積／562,687.47㎡
建築面積／1,207.66㎡
延床面積／1,194.24㎡

撮影 阿野太一



柏木由人
1973年生まれ
1997年 慶應義塾大学商学部卒業
1999年 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科建築・都市デザイン専攻修了
1999年・2000年 Renzo Piano Building Workshop
2000年・2007年 Engelen Moore

2008年・Facet Studio設立
2008年・ファセット・スタジオ・ジャパン一級建築士事務所設立
2002年・2007年 シドニー大学非常勤講師
2010年・ニューサウス・ウェルズ大学非常勤講師
[主な建築作品と受賞歴]
2015年 Taipei International Design Award (台湾)/Public Space Design部門大賞／2013年 同志社大学京田辺キャンパス礼拝堂および関連施設設計提案競技最優秀作品賞／2012年 Interior Design Excellence Awards (オーストラリア) 新人賞・Interior Design Excellence Awards (オーストラリア) International Project部門大賞／2012年 Interior Design Excellence Awards (オーストラリア) Retail Design部門大賞

〈審査講評〉キャンパス内の通路を挟んで両側に水盤とそれを覆う大きなコの字型の底空間が対称的に配置され、一方がガラス張りの礼拝堂、他方が同志社大学の創始者である新島襄の足跡に関わる資料展示室が配置されている。オフィスや会議室などの諸室はそれぞれの背後にコンパクトにまとめられ、矩形のボリュームが整然と並ぶキャンパスの景観の中に施設の建設理念が明快かつ端正に表現されていることが評価された。（審査委員 梶橋 修）

大阪府知事賞 大塚グループ大阪本社 大阪ビル

設計者 若林 亮（株式会社日建設計）

建築位置／大阪市
建物用途／事務所・保育所
建築主／大塚製薬株式会社
施工者／株式会社竹中工務店
竣工年月／2014年2月
構造／S造、SRC造
階数／地下1階、地上11階、塔屋1階
敷地面積／2,432.32㎡
建築面積／861.10㎡
延床面積／7,254.71㎡

撮影 テクニ・スタッフ・岡本公二



〈審査講評〉大阪市内のメインストリート、松屋町筋に面して建つオフィスビルである。縦長斜め格子ユニットのスレンダーな建物は、程よい佇まいで街並みに豊かな表情を与えている。このユニットで囲まれたオフィススペースは適度な距離感を持って外部と接し、コーナーに設けた小さな吹き抜け空間が心地よい安らぎを与えている。特に目新しいことはしていないが、細部に至るまできめ細やかに考えられた質の良いオフィス建築である。（審査委員 陶器浩一）



若林 亮
1961年生まれ
1983年 豊橋技術科学大学建設工学課程卒業
1985年3月 豊橋技術科学大学大学院建設工学系修士課程修了
1985年4月 株式会社日建設計入社
1998年4月 同社設計室設計主管

2001年4月 同社設計室長
2006年1月 同社設計部門副代表兼設計室長
2015年1月 設計部門代表
[主な建築作品と受賞歴]
掛川市庁舎／1997年 建築業協会賞、日本建築学会作品選奨、2000年公共建築賞 他
瀬戸市立品野台小学校／2001年 日本建築学会作品選奨、建築と社会賞、2005年JIA環境建築賞入選、公共建築賞 他
トヨタインスティテュート／2005年 サステナブル建築・住宅賞国土交通大臣賞 他
高山市立南小学校／2005年 日事連建築賞優秀賞 2010年 モード学園バイラルタワーズ／2009年 日本建築家協会優秀建築選、日本建築学会作品選奨、2008年 愛知まちなみ建築賞（大賞）

大阪府知事賞 千本の家

設計者 矢田朝士（ATELIER-ASH）

建築位置／京都市
建物用途／戸建住宅
施工者／株式会社ムカイ工務店
竣工年月／2015年10月
構造／W造
階数／2階
敷地面積／77.44㎡
建築面積／46.46㎡
延床面積／71.39㎡

撮影 絹巻 豊



〈審査講評〉京都西陣の古い建物も多く残る地域に建つ。伝統的なモチーフの引用はないが、材料の扱いやディテールの繊細さ、色合い、風合い、適度に連続性のあるプランは、現代の町家として周辺になじんでいる。余分なものをもたない、見せない、住み手の思いが反映された超シンプルな空間では、開口部で切り取られた外の風景が、とても鮮やかなものとして目に飛び込んでくる。（審査委員 橋寺知子）



矢田朝士
1967年生まれ
1992年 神戸大学工学部環境計画学科卒業
1992～1997年 無有建築工房
1998年 ATELIER-ASH 開設
現在に至る
2007年～ 関西大学非常勤講師

2010年～ 大阪市立大学非常勤講師
2015年～ 京都工芸繊維大学非常勤講師
[主な建築作品と受賞歴]
2005年 ES house-01／IBECサステナブル住宅賞優秀賞、JIA新人賞、日本建築士会連合会優秀賞、奈良県景観調和デザイン奨励賞、JIA近畿支部関西建築家大賞
2007年 帷子の家／住まいのインテリアコーディネーションコンテスト経済産業大臣賞
2009年 ES house-02／日本建築士会連合会奨励賞、JIA近畿支部関西建築家大賞
2013年 日本建築学会近畿支部コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計最優秀賞、同二村賞
2014年 Domus Ishigaki／日本建築学会九州支部建築九州賞九州建築選2015

理事会報告

平成28年度役員名簿 *は委員長

会長

岡本森廣 全日本コンサルタント(株)技術部調査役
副会長

上田茂久 (株)上田茂久建築設計工房代表取締役
濱田徹 (株)イリア関西事務所長

田中義久 (株)中都市建築事務所代表取締役
中嶋節子 京都大学大学院教授

理事

荒木公樹 空間計画(株)代表取締役
*飯田英二 (株)I・M・Oデザイン代表取締役

*石貫方子 パナソニックESテクノストラクチャー(株)執行役員
岩岸克浩 (株)ワグシ取締役

大附一彦 新建設工業(株)代表取締役
尾鍋裕実 尾鍋建築設計事務所代表

木村吉男 杉本建設(株)常務取締役
熊田将男 (株)安井建築設計事務所工事監理部長

黒川宗範 (株)大林組大阪本店建築事業部プロジェクト設計部課長
小谷美樹 積水ウズ(株)経営企画部ダイバシティ推進室部長

阪田晴宏 阪田設計工房主宰
昇 昇設計室代表

杉本哲雄 独立現代都市研究所代表
田代加奈 (株)環取締役

巽 泰滋 (株)興工務店代表取締役
田中克之 設計TANAKA所長

田中光典 (株)竹中工務店大阪本店設計部副部長
田鍋 稔 鹿島建設(株)設計企画管理グループ設計主査

辻井光憲 大和ハウス工業(株)建築設計部課長
津村泰夫 一級建築士事務所住環境設計代表

寺地洋之 大阪工業大学工学部建築学科教授
*徳岡浩二 (株)徳岡設計代表取締役社長

中島 薫 ナカニ建設(株)代表取締役
沼田 亘 (株)昭和设计代表取締役会長

橋本頼幸 こま設計堂代表
平井浩之 大成建設(株)設計部長

牧野隆義 (株)テンフォーン(Tenfohn)代表取締役
松村和吉 (株)松村設計代表取締役

室木 裕 アトリエカラ代表
森田茂夫 アトリエテレオ

守屋一之 守屋建築事務所代表
山添光訓 大阪府住宅まっくろ部住宅経営室長

*山地康夫
*山城健児 コナン建設(株)取締役常務執行役員営業本部長

山本尚子 山本尚設計工房代表
*横田友行 (株)能勢建築構造研究所代表取締役社長

吉野俊一 (株)銀治田工務店参事
*芳村隆史 (株)碧・A・O建築事務所代表取締役

専務理事
杉原 繁 (公社)大阪府建築士会専務理事

監事
神保 勲 (株)神保塗装代表取締役

七堂元敏 (財)大阪建築防災センター建築確認検査機構企画審査部企画担当部長

建築相談室から三

「建築相談ハンドブックⅢ」発刊

文 橋本頼幸

相談分科会では、これまでに「住まいのハンドブックマイホーム建て方、買い方(二〇〇〇年一月発行)」、建築相談ハンドブック建てたあとで泣きを見ないために(二〇〇六年一月)」、建築相談ハンドブック建てたあとで泣きを見ないためにⅡ(二〇一二年六月)と三冊のハンドブックを発行してきました。

当初はトラブルが発生してしまつてからの対応では限界があることから、消費者に対する啓発ツールとして活用してもらいたいとの思いからスタートし、諸先輩方が苦労して改訂を重ねてくれました。直近の「建築相談ハンドブックⅡ」では、「建築士の間取り実例全20例」ときめく家づくりの素」と題して、会員から新築住宅やリフォームの間取りを提供いただきました。これは、これまでの啓発ツールからさらに一歩踏み出して、「住宅を持ちたい・買いたい」と思った消費者とのお手伝いをしたいと思う建築士のコミュニケーションツールとして活用してもらうことを目指しました。

建築士として住宅設計の最前線にいる設計者たちが考えた間取りや写真を見ながら話をすることができ、手にとった消費者が求めているイメージを具体化し、それを設計者やハウスメーカー、工務店などに伝えるツールとして大いに役立つと思います。

その流れをくんで今回筆者がまとも役の命を受けて、第四版の改訂にとりかかりました。間取り20例を見直し、Q&Aも更に踏み込んでより消費者目線で、かつフルカラーで再構成する機会を得ました。そして、今まで建築士会の有志で取り組んできた構成やデザイ

ンをデザインの専門家に協力していただくことで、より読み物として高いレベルを目指して改訂するに至りました。

住宅を手に入れるときに考えないといけないことや決めないといけないことは、時代とともににより複雑化・専門化しています。情報もあふれかえっています。そのなかで、消費者として、あるいは住宅取得者として最低限知っておいていただきたいこと、考えておいていただきたいことを、厳選してQ&Aを構成し、わからないこと時代とともに変わっていくことはその最前線にいる専門家に任せて一緒に考えていく」というスタンスを理解していただくように工夫しました。

本書が幅広く利用され、消費者と建築士をつなぐコミュニケーションツールとして新たなページを開くことを願う次第です。またその期待に十分応えられるハンドブックになったと思っております。

会員の皆様には本ハンドブックの積極的な配布・販売をお願いしたいと思っております。事務局で販売しており、一部一〇〇〇円＋消費税です。売上はすべて建築士会収入となります。イベントや勉強会、依頼者・相談者への案内・広告もぜひよろしく願います。会員の皆様に積極的に使っていただくことで、大阪府建築士会を多くの一般市民に知っていただき、良質な建築・まちづくりの一助になるよう期待しています。



大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

国道一号线に架かる桜宮橋西詰にある造幣局。通りを挟んだ向かい側には、凛とした佇まいの洋館が存在している。今回取り上げる「泉布観」だ。明治元年(一八六八年)、大坂三郷の東部天満川崎にあった旧幕府の材木蔵の跡地を利用して、造幣寮(現造幣局)の建設が始まった。設計はイギリス人のトーマス・J・ウォートルス氏で、後に銀座煉瓦街やイギリス公使館なども手掛け、日本で本格的な西洋建築を最初に建設したといわれている。一方、造幣寮(現造幣局)の応接所として建てられた泉布観も同じ設計者によるもので、明治四年(一八七一年)に竣工した。

建物は、煉瓦造一部石造の二階建てで、平面はほぼ正方形で、正面中央には車寄せを設け、典型的なゴシックスタイルの外観を有している。また、洋風建築としては、これらの建物は大阪の近代化の始まりを象徴する建築であり、全国で極めて早い時期に、国の重要文化財に指定されている。大阪で現存する最古の洋風建築は、造幣局の桜の通り抜けの時期には、大阪を代表する美しい風景に貢献している。

建築人 6 2016

監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会	
編集	建築情報委員会『建築人』編集部	
編集人代表	米井 寛	飯田英二
編集人	荒木公樹 河合哲夫 筑波幸一郎 中間伸和 牧野隆義 山本茂樹	黒川祐樹 中江 哲 橋本頼幸 母倉政美
事務局	中和印刷紙器株式会社	
印刷		



伊志嶺敏子氏講演会

蒸暑地域 “沖縄” に学ぶ 住まいづくり

南の島から学ぶ高断熱高気密住宅の行方

宮古島の平良団地を訪れると、蒸し暑い7月なのに、冷房のスイッチを切った居間を、心地よい風が通り抜け、リゾート気分さえ漂う。南島の激しい気候風土に逆らうことなく過ごす伝統的な暮らしと住まい方から発見した住宅だ。

設計者の伊志嶺敏子さんは、「北海道も沖縄も、設計の原則は共通するものがある。寒さと暑さ、豪雪・吹雪と台風という厳しい外部環境とどう折り合いを付けて内部環境を整えるか。人の住まいには本来、緩衝帯という調整空間が欠かせない。」と語る。

蒸暑地域“沖縄”で風土にあった住まいづくりを追求する建築家に学び、「環境の時代」にふさわしい21世紀の住まいのあり方を共に考えたい。



写真：伊志嶺敏子一級建築士事務所（宮古島の県営平良団地、郊外型環境共生住宅、市街地型環境共生住宅）



伊志嶺 敏子（いしみね・としこ）氏
プロフィール

奈良女子大学住居学科卒業。
卒業後、浅井設計、
GK インダストリアルデザイン研究所、
上野雄司建築設計事務所 勤務、
東京工芸大学工学部建築学科 助手 を経て
伊志嶺敏子一級建築士事務所 設立 現在に至る

受賞：HOPE 計画 20 周年記念特別表彰 HOPE 大賞
地域住宅計画奨励賞など

日 時：2016 年 6 月 11 日（土）15 時～17 時

（受付開始：14 時 30 分）

場 所：531-6023 大阪市北区大淀中 1-1

梅田スカイビルタワーイースト 22 階 E 会議室

講 師：伊志嶺 敏子氏（伊志嶺敏子一級建築士事務所 代表）

共同主催：NPO 法人 西山卯三記念すまい・まちづくり文庫

（公社）日本建築家協会 近畿支部

（公社）都市住宅学会 関西支部

後 援：（公社）大阪府建築士会、（一社）大阪府建築士事務所協会、（一社）日本建築協会
（一社）日本建築学会 近畿支部 住宅部会

協 賛：積水ハウス株式会社、積水ハウス梅田オペレーション株式会社

参 加 費：無料

定 員：120 名（自由席）要申し込み（先着順）

申込・問合せ先：公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部

E-mail: jia@bc.wakwak.com TEL:06-6229-3371



大塚グループ大阪本社大阪ビル 日建設計（若林亮）

大阪市内のメインストリートの一つである松屋町筋に面して建つ、大塚グループが入居するオフィスビルである。

「創造性」や「発想の転換」を大切にする大塚グループの企業理念に応えるべく、H型钢を三角形（ダイアゴナル）に組んだ構造とカーテンウォールが一体となった「スキストラクチャー」とも言うべきシェルのような外装で建物全体を包み込む計画とした。これにより、豊かな眺望を望めず、かつオフィスの奥行が浅い条件の中で、北面の安定した自然採光と視線制御の両立を図りながら、柱型の突出しない使いやすい事務室を実現した。

オフィスに面した2層吹抜けの「コミュニケーションアトリウム」、熱負荷の大きい東西面ガラスの2重化、全館LED 照明、災害時に備えた電気・ガス併用式空調システムなど、働きやすさ・環境配慮・BCP対応に優れた計画とした。

事業所内保育所は1階に並置した平屋建てで、オフィスの三角フレームに呼応した「サンカクヤネ」とし、ハイサイドライトから柔らかい自然光を導く工夫とした。エントランス空間もダイアゴナルパターンで徹底し、折り紙を折ったような大型陶板と立体陶板のデザインでおもてなしの思いを表現している。

第35回大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）審査員特別賞受賞 撮影：テクニ・スタッフ（岡本公二）

■プロフィール

若林 亮（わかばやし・まこと）
1961年 石川県生まれ
1983年 豊橋技術科学大学卒業
1985年 豊橋技術科学大学大学院修了
1985年～ 日建設計
現在、設計部門代表

■建物データ

設 計：株式会社日建設計
施 工：株式会社竹中工務店
所 在 地：大阪市中央区
用 途：事務所・保育所
構 造：S造、SRC造
規 模：地下1階、地上11階、塔屋1階
敷地面積：2,432.32㎡
建築面積：861.10㎡
延床面積：7,254.71㎡

